

# とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート 2018.10 October vol.45-1

## 笑顔がつくるはつらつ島根 すべては皆さんの笑顔のために

森友・加計問題の疑惑は解明 ○若い人たちが定住し、安心して働ける環境づくりを進めます。

国民の声をしっかりと受け止める ○災害から県民を守るための対策を進めます。

政治が求められています。

角ともこは、これまで「みんなが笑顔で暮らせる島根づくり」に取り組んできました。これからも、働く人、生活者の立場にたち、女性の視点を生かして、5つの柱を基本に課題解決に取り組んでまいります。

### 1 ひとづくり、まちづくり 大切な財源を活かします

#### 大切な財源を活かします

○地域の課題解決に取り組む市民活動、NPO活動への支援をこれからも進めます。

○障がいがある人もない人もともに地域で暮らす共生社会の構築を進めます。

### 2 子どもの育ちを支える 福祉や教育の充実を図ります

#### 福祉や教育の充実を図ります

○時代を担う子どもたちを育てるために、家庭・学校・地域が一体となった子育て環境の整備を進めます。

○子ども一人ひとりに向き合う教育が実現できるよう、教員の確保と働き方改革を進めます。

○障がいがある子どもも地域の中で自立して暮らすことができる共生教育を進めます。

○幼稚園・保育所、放課後児童クラブの整備と充実に取り組み

### 3 女性が活躍できるための 環境の整備を図ります

#### 環境の整備を図ります

○女性のあらゆる場への参画促進と、女性が活躍できる環境づくりを進めます。

○女性も男性も共に家庭と仕事ができる社会を目指し、企業のワークライフバランスの取り組みを支援します。

○公共事業を受注する企業などで働く人たちの賃金、労働環境改善を進めるため、公契約条例の制定に取り組みます。

### 4 健康づくりと医療体制の 充実を図ります

#### 充実を図ります

○看護師など医療従事者を確保するため、働く環境や処遇改善

のための支援施策を進めます。

○高齢者や障がい者が地域で安心して暮らせる地域一体となった医療、介護の提供体制づくりを進めます。

### 5 県民一体となって 島根の農林水産業を守ります

#### 島根の農林水産業を守ります

○食の安全を守るため、有機農業の推進や、主要農作物(米・麦・大豆)の種子を守る県条例の制定に取り組めます。

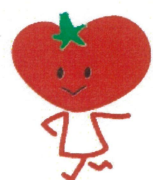
○農業の担い手確保に向け、働きがいのある農業づくりを進めます。

○所得向上のための農林水産物の販路拡大や地産地消の推進、戸別所得保障制度の充実などの取り組みを進めます。



角ともこ

# これまでの取り組み



県議会議員となつて11年余り、この間に取り組んできた角ともこの活動を報告します。

## 未来に夢膨らむ子どもたちのために

県議会議員として取り組んできた大きな課題のひとつに、子どもを取り巻く環境の改善があります。いじめや不登校、児童虐待など子どもが抱える問題は様々にあり、早い段階で対処しないと深刻な問題に発展する危険性もあり、対策を求めてとり上げてきました。

インターネットの急速な普及、ケイタイ・スマホの利用者拡大は小さな子どもにまでおよび、ネット依存やスマホ利用による発達・成長への影響が確認されています。また、ネットを通じたトラブルやいじめ、さらには殺人事件へ発展するなど社会問題となっています。この問題をたびたび質問に取り

上げました。家庭や地域、社会全体での取り組みが求められる中、教育現場での指導、啓発も進み、子どもたちも問題への理解が進みつつあります。



森のようちえんの子どもたち

## 子どもを育む環境の整備

女性の社会進出が進むとともに、保育所・幼稚園で過ごす乳幼児が増えています。より質の高い保育・幼児教育の充実に向け、教育委員会と健康福祉部が一緒になって教諭・保育士の研修や専門官による現場での指導ができる体制の必要性を

求めた結果、本年4月、幼児教育センターが設置されました。さらに、センターの充実に向け

て取り組んでいきます。また、子どもたちがすすくと育つ環境づくりのため、子育て世代包括支援センター設置、主権者教育の充実、インクルーシブ教育の推進、フリースクールへの支援などを求めました。

## 誰もが笑顔で暮らせるしまねづくり

### エネルギーのベストミックスは

本年6月議会では、島根原発3号機の新規制基準適合性申請の了解について審議があり



原発3号機原子炉を見学

男女平等の推進などに、引き続き取り組みます。

## 食の安全・安心を求めて

### 農業の使用制限を

欧米に比べ、日本の農薬の使用量は多く、ヨーロッパで制限されている農薬が使われている現状もあり、農薬の使用制限を求めました。また、食の安全を守るため、減農薬、無農薬、有機による栽培の促進を図り、給食などへの使用を要請しました。

### 主要農作物種子法の復活を

昨年、国会で主要農作物種子法が廃止になりました。種子法は国、都道府県が優先して優良な種子の生産・普及を進めるための法律で、これにより、公的試験研究機関が、米・麦・大豆の原種の優良品種を選定・育成し、農家に提供してきました。

### ワークライフバランスの推進

今後、原発に頼らない社会の実現に向けて、原発の稼働を止める取り組みを続けます。保育士、看護師、介護福祉士などの処遇改善を求めてきました。女性が働く職場の処遇改善は、働く人たちが皆の労働時間の短縮やワークライフバランスにつながります。

雇用の安定、働き甲斐のある職場づくり、労働法制の遵守、の制定を求めています。